

あなたの『やりたい』が、商店街を動かす力になる。

商店街を、いつまでも続く場所に。

商店街は単に「買い物をする場所」だけではありません。そこには人の暮らしがあり、会話が生まれ、街の個性が育まれる「地域コミュニティの核」としての役割があります。しかし今、市内に91ある商店街の多くが、担い手不足という大きな課題に直面しています。5年後、10年後、そしてその先も、商店街が街の誇りであり続けるために。私たちは、新たな感性で未来を切り拓く人材を発掘・育成する「商店街担い手発掘プロジェクト」をスタートさせました。

「個」の想いが重なり、街が動く。

このプロジェクトには、商店街の組合員や店主、そして「商店街を応援したい」という熱い想いを持った多様な

方々が集まりました。

毎月開催される勉強会やフィールドワークを通して、私たちはある変化を目撃しました。それは、地区の境界線を越えてノウハウを伝え合い、刺激を受け、自らの街で新たな一歩を軽やかに踏み出す担い手たちの姿です。そこにあったのは、従来の枠組みに囚われない自由な発想と、「この街の魅力を自分たちの手でアップデートしたい」という強い想いでした。立場も世代も越えて人々が手を取り合う姿に、私たちは北九州市の商店街が持つ無限の可能性を再発見しています。

次は、あなたの出番です。

北九州市には、このブックで紹介したような、やる気と個性に溢れた商店街がたくさんあります。「何か新しいことをやってみよう」と夢を抱いてい

るあなたへ。商店街というフィールド

へ飛び込んでみませんか？そこには、あなたの挑戦を全力で応援してくれる担い手たちが待っています。「買い物はいつもショッピングモール」というあなたへ。ぜひ一度、近くの商店街を歩いてみてください。店主の笑顔や、血の通ったイベントが、日常を少しだけ豊かにしてくれるはず。さあ、私たちと一緒に、北九州市の商店街を盛り上げていきましょう。



北九州市産業経済局地域経済振興部 サービス産業政策課 溝正 遥己（左）
商業振興係長 湯野 寛暁（右）

祭りの執狂が手本。 音楽で繋がる商店街の絆

八幡祇園町銀天街協同組合 理事 松丸 順子さん



田中会長の推薦で、黒崎「熊手夜市」に私のバンド「ギオン夢一座」が出演しました。黒崎ゆかりの曲を奏でると、会場は手拍子で大盛り上がり。そこで目にしたのは、商店街が丸となって楽しむ姿と、多くの家族連れや若者で賑わう光景でした。この熱気とノウハウは、私たちにとっても大きな希望。演奏を通じて、明日への活力を持ち帰りました。



会場が手拍子に包まれた「ギオン夢一座」のステージ。黒崎と八幡東、商店街の心が一つになった。(2025.10.10 熊手夜市～超線日～)

黒崎 × 八幡東

大学の知が集い、街をフィールドに躍動する。 15年の絆がつかなく「実践」と、最新技術が解き明かす「体験」

商店街と観光地を、学生の「歩き」と「対話」でつなぐ

北九州市立大学 西田ゼミ
上別府 凌都さん



栄町銀天街「モノはうす」を拠点に、22名の学生が「地域コーデイネート」を実践中。15年続く商店主との信頼関係を土台に、学生自らがガイドとなり、観光客へダイブな魅力を発信しています。小道やレトロ建築の魅力を丁寧に伝えることで、観光地から商店街への新しい人の流れを生み出しています。



赤い法被が目印！観光客に身振り手振りで魅力を伝える西田ゼミの学生たち

AIとデータで解き明かす、
門司港の「心の高まり」

早稲田大学 家入研究室
早稲田大学理工学術院情報生産システム研究科
講師 家入 祐也さん・朝倉 啓心さん

早稲田大学の家入祐也先生は、AIやARなどの先端技術を地域課題に応用。「感情」を可視化する研究として、ウェアラブルデバイスを用いた街歩き調査を実施しました。来街者が「どこで心が動いたか」を科学的に分析し、留学生とも協働しながら、満足度の高い体験設計に挑戦しています。



「感情」をデータ化!? 新しい観光ルート設計を目指しフィールド調査する学生たち

門司港 × 北九州市立大学・早稲田大学